

テスト名	TOEFLiBT					
1. 運営事業団体	国際教育交換協議会(CIEE)日本代表部					
2. テスト作成母体	ETS(Educational Testing Service)					
3. 主たる受験対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・高等教育機関に留学予定の学生 ・英語学習プログラムへの入学および修了 ・奨学金や証書授与の候補者選考 ・自らの進歩を確認したい英語学習者 ・ビザを申請する学生や社会人 					
4. 目的	大学レベルの英語を使用および理解する能力を測定する。さらに、リスニング、リーディング、スピーキング、ライティングの各スキルを組み合わせて、学術的な課題を遂行する能力も評価する。					
5. 構成概念の構成 (測定する能力)	Reading	Listening	Speaking		Writing	
	英語で書かれた学術文を理解する能力	大学で使用される話し言葉の英語を理解する能力	学術的な状況で英語を話す能力		大学の課題に適したように英語を書く能力	
6. テストの性質(テキスト・タスクの性質など)・項目数	学術的な文章の抜粋を3または4パッセージ読んで質問に答える。(多肢選択問題、文を挿入する問題、グループ分けする問題など。)36-56問	講義、授業中の討論、会話を聴いた後に質問に答える(多肢選択問題、表を完成させる問題など)34-51問	身近なトピックについて意見を述べる。読んだり聞いたりした内容を基に話す		読んだり聞いたりした内容を基にエッセイ形式の答案を書く。意見を支持する文章を書く。	
			Independent Tasks	Integrated Tasks	Integrated Task	Independent Task
			好みと理由を問う問題。支持する意見と理由を問う問題。準備15秒、回答45秒	要約する問題(大学生活を想定)、問いに答える問題(講義を想定)。読んで聞いてから話す(2問)、聞いてから話す(2問)	要約する問題。読んで聞いてから書く。150-225語程度)	意見に基づき作文する問題(300語程度)
7. 採点基準	2値的	2値的	各0-4 http://www.ets.org/Media/Tests/TOEFL/pdf/Speaking_Rubrics.pdf	各0-5 http://www.ets.org/Media/Tests/TOEFL/pdf/Writing_Rubrics.pdf		
8. 得点	0-30	0-30	0-30	0-30		
9. 評価・Feedback	Examinee Score Reportには取得スコアとそのレベルが表記されており、そのレベルに関する解説が記載されている。またTOEFL iBT Tipsにはこの解説に加え、レベルごとに英語力を上げるためのアドバイスも載っている。					
10. 受験時間	60-80分	60-90分	20分	20分	30分	
11. 受験者数	非公開だが、世界全域で2700万人を超える受験者					
12. 受験料	\$200					
13. ウェブサイト	http://www.ets.org/jp/toefl http://www.cieej.or.jp/toefl/toefl/index.html http://www.ets.org/s/toefl/pdf/toefl_ibt_bulletin_2012-13.pdf					
14. その他(変化・特徴など)	<ul style="list-style-type: none"> ・テストセンターで1人1台コンピュータが割り当てられ、全セクションコンピュータ上で受験 ・テスト所要時間: 4-4.5時間。リスニングとスピーキングの間に休憩が10分入る。 ・全セクションでメモをとること(Note-taking)が可能 ・Speakingセクションでは、マイクに向かって話し、音声録音される 					
感想	4時間を超える長いテストなので、かなりの集中力が必要である。特にスピーキングに関しては、制限時間以内に正確にかつ簡潔に述べなければならないため、事前に準備をしてからテストに臨んだほうがよい。(R.F.2013.2.24現在)					